

新発田市・阿賀野市・胎内市・聖籠町

阿賀北の食 堪能会

地域自慢の食材をたっぷり使用したお食事を、豪農の館など
歴史的な建物を会場に提供する特別な企画です。
この機会に、新発田地域の食と歴史をご堪能ください。



とき／平成23年11月
会場／角斎藤邸（阿賀野市）
南都屋（胎内市）
二宮邸（聖籠町）
金升酒造（新発田市）



お食事イメージ（南都屋）

阿賀北・新発田地域(新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町)は、海あり山あり平野あり。

それぞれの恵みの食材が豊富に揃う地域です。

そして、新発田地域には豪農の館をはじめ、地域の宝とも言える歴史ある建物がいくつも残されています。

地域自慢の食材をたっぷり使用したお食事を、地域自慢の非日常的な空間の中でどうぞ堪能ください。

1 豪農の館で味わう阿賀北の食と宿場町・安田の歴史案内

-阿賀野市- 平成23年11月5日(土)、7日(月)、8日(火)

阿賀野市は、地元産の大豆を使用した豆腐や油揚げ、味噌などの大豆製品が美味しい町。酪農発祥の地・安田では乳生産も盛んで、新鮮生乳を原料にしたヨーグルトは代表的な特産品です。

豆腐や油揚げ、ヨーグルトのほか、地元の新鮮野菜をたっぷり使用した、体にやさしいお食事を、豪農の館でごゆっくり堪能ください。



会場 角齋藤邸

新潟に5家あった千町歩地主の一つ・齋藤家の分家。旧安田町中心部の十字路にあることから、角齋藤家と呼ばれていました。広い敷地と庭園、それを取り囲む海鼠壁の塀や松の大木が当時の繁栄ぶりを偲ばせます。現在は、亀田屋別館・角昭となり、茶室や足湯が設けられるとともに、土蔵がお茶処に改装されるなど、贅沢な空間が広がっています。

住所/阿賀野市保田1812
TEL/0250-68-2068(亀田屋)

日時 11月5日(土)、7日(月)、8日(火) いずれも午前11時~

料金 4,000円(税込) 飲み物は別途料金。

定員 各日 20名(先着)

料理提供 御料理・仕出し
亀田屋(阿賀野市)

旧安田町の歴史に関するお話をお聞きいただいた後、お食事となります。また、ご希望の方を対象に、食後に吉田東伍記念博物館へ無料でご案内いたします。



吉田東伍記念博物館

〈お申込み先〉阿賀野市商工観光課

TEL/0250-62-2510 FAX/0250-61-2037

2 老舗料亭で味わう阿賀北の食と會津八一と胎内市のゆかり案内

-胎内市- 平成23年11月13日(日)

胎内市は、砂丘地を活かした野菜生産と畜産経営が盛んな土地。肉加工品や乳製品などの胎内ブランドは言わずと知れた特産品です。米粉の普及にも力を入れ、おいしい米粉製品が沢山あります。

特産の肉や野菜、米粉を使った料亭ならではの食事を、會津八一ゆかりの老舗料亭でごゆっくり堪能ください。



会場 南都屋

江戸時代に宿場町として栄えた旧中条町の中心部にあります。江戸末期創業で、現在の建物は昭和初期建築。当時の趣を今に伝えています。歌人で東洋美術研究家の會津八一は、胎内市に疎開していた当時、南都屋を頻繁に訪れていました。館内には、會津八一の書が掲げられています。

住所/胎内市本町4-18
TEL/0254-43-2016(南都屋)

日時 11月13日(日)

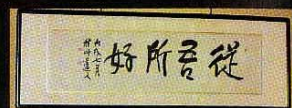
午後12時~

料金 4,000円(税込)
飲み物は別途料金。

定員 40名(先着)

料理提供 料亭 南都屋

食後に會津八一と胎内市のゆかりに関するお話をお聞きいただくとともに、市内の「會津八一通り」をご案内いたします。
[協力:會津八一記念事業実行委員会]



會津八一書(南都屋蔵)



太總寺(會津八一通り)の歌碑

〈お申込み先〉胎内市商工観光課

TEL/0254-43-6111 FAX/0254-43-5502



3 豪農の館で味わう阿賀北の食と紅葉の庭園散策

—聖籠町— 平成23年11月19日(土)

聖籠町は果樹の里。その代表は、初夏のさくらんぼと秋のぶどうで、収穫期には大勢の観光客で賑わいます。この他にも、イチゴや桃、新高やルレクチエなどの梨も栽培されています。

季節のフルーツをはじめ地元の食材をたっぷり使ったお食事を、豪農の館でごゆっくりご堪能ください。



会場 二宮邸

聖籠の大地主として町の歴史に大きく関わってきた二宮家。約3,000坪の敷地に美しい日本庭園「静勝園」や、250本ものバラや草木が咲き誇るバラ園、土蔵5棟などがあります。屋敷から望む弁天湯風致公園の湯は、かつて二宮家の私有地でもありました。母屋などの建造物は国の登録有形文化財に指定されています。

住所 / 北蒲原郡聖籠町蓮野
TEL / 0254-27-2111 (聖籠町観光協会)

日時 11月19日(土) 午前11時～

料金 4,000円(税込)

定員 20名(先着)

料理提供 割烹 亀城(聖籠町)

聖籠町と二宮家の歴史に関するお話と紅葉の日本庭園「静勝園」散策の後、お食事となります。

※当日は「静勝園」を一般公開しています。他のお客様もいらっしゃいますので、予めご了承ください。



日本庭園「静勝園」

〈お申込み先〉 聖籠町産業観光課

TEL / 0254-27-2111 FAX / 0254-27-2119

4 老舗酒蔵で味わう阿賀北の食と昭和の風情残る酒蔵見学

—新発田市— 平成23年11月23日(水・祝)、26日(土)

肥沃な土地が広がる新発田市は、県内有数の良質米の産地であるとともに、県内一の生産量を誇るアスパラガスをはじめとした各種野菜、イチゴやりんごなどの果実、和牛やブランド豚など、食材の宝庫です。

地元の食材をたっぷり使ったお食事を、蔵出しのお酒とともに、ごゆっくりご堪能ください。



会場 金升酒造

文政5年(1822年)創業の日本酒蔵元。屋号の「金升」は尺金と升で正確に量る、正直なもの造りと商売を目指す心意気由来しています。昭和5年に旧新発田藩主溝口侯の御菜園跡地であった現在地に移転しました。酒蔵と庭園には昭和の風情が今も残っています。

住所 / 新発田市豊町1-9-30
TEL / 0254-22-3131 (金升酒造)

日時 11月23日(水・祝)、26日(土)

いずれも午前11時～

料金 5,000円(税込。日本酒付き)

※日本酒は、お土産としてお持ち帰りいただくこともできます。

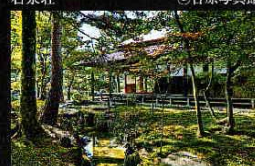
定員 各日 20名(先着)

料理提供 料亭 志まや(新発田市)

新発田川沿いには、金升酒造、石泉荘(国登録有形文化財、登録記念物)、清水園(国指定名勝)と名園が並びます。今回は石泉荘と清水園も無料でご覧いただけます。[協力新発田市観光協会]



石泉荘 ©吉原写真館



清水園 ©吉原写真館

〈お申込み先〉 新発田地域振興局企画振興部

TEL / 0254-22-8612 FAX / 0254-22-1447

阿賀北・新発田地域への アクセス



〈お申し込み方法〉

お申し込みは、参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAXで送信いただくか、電話でお申し込みください。
 なお、お申し込みは各会場ごとに異なりますので、ご注意ください。
 また、グループでの参加を希望される方は、1枚の参加申込書に全員の住所・氏名・電話番号をご記入ください。
 電話でのお申し込みの場合は、グループでの参加希望の旨お伝えください。
 参加される方へ、後日案内状をお送りいたします。
 ※個人情報、案内状の送付や必要な連絡以外には使用いたしません。

〈お申し込み先〉

中面をご覧ください。各会場ごとに異なりますので、ご注意ください。

〈参加申込書〉

受付開始
平成23年10月3日(月)から

参加希望コース

※参加を希望するコース名と希望日に○を付けてください。

① 豪農の館で味わう阿賀北の食と宿場町・安田の歴史案内-阿賀野市-	11/5(土)	11/7(月)	11/8(火)
② 老舗料亭で味わう阿賀北の食と會津八一と胎内市のゆかり案内-胎内市-	11/13(日)		
③ 豪農の館で味わう阿賀北の食と紅葉の庭園散策-聖籠町-	11/19(土)		
④ 老舗酒蔵で味わう阿賀北の食と昭和の風情残る酒蔵見学-新発田市-	11/23(水・祝)	11/26(土)	

氏名	住所	電話番号
〒 -		
〒 -		
〒 -		
〒 -		
〒 -		

主催：新潟県新発田地域振興局、新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町
 協力：新発田市観光協会、會津八一記念事業実行委員会、聖籠町観光協会

お問い合わせ：新潟県新発田地域振興局企画振興部 TEL 0254-22-8612 FAX 0254-22-1447